



## 9月定例会 9月1日～10月9日

今年も11月9日に議会報告会を開催します。  
 多くの方の声を聴き、市政に反映させて参ります。  
 (写真は昨年の議会報告会の様子)

### 主な内容

- 本会議のあらまし ..... 2
- 質疑 ..... 3
- 討論 ..... 3
- 請願審査 ..... 3
- 委員会審査 ..... 4～5
- 議案の内容 ..... 6
- 審議した議案とその結果 ..... 7
- 一般質問 ..... 8～12
- やっりよるよ! 議会改革 ..... 13
- 編集後記 ..... 13
- 常任委員会視察 ..... 14～15
- 11月に議会報告会 ..... 16

## 9月定例会

# 平成26年度決算原案認定

## 補正予算など原案可決

### 本会議の あらまし

市議会9月定例会は、9月1日から10月9日まで39日間の会期で開かれました。

初日は、まず平成26年度の一般会計及び各特別会計決算認定議案と議案第71号、第72号の企業会計の利益の処分及び決算認定議案が上程され、予算決算特別委員会を設置し審査することになり、また、請願2件を総務委員会に付託しました。その後、議案第73号から第82号までを一括議題とし、市長から提案理由の説明がありました。

9月3日は、提出議案について2名が質疑を行い、さらに各常任委員会で詳しく審査することとしました。

常任委員会は、生活環境、教育民生が4日に、総務、都市経済が7日にそれぞれ行われ、議案審査が行われました。

10日は、委員会に付託していた議案と請願の審査結果について、議案はいずれも原案承認、請願はいずれも不採択との報告があり、議案第76号について1名が、議案第73号、議案第76号、議案第79号について1名が反対、請願2件について不採択を求める討論が1名、採択を求めたことに伴い、同議案と請願を分離して起立によって採決しました。その結果、議案はすべて賛成多数で可決し、また、請願第3号と請願第4号もそれぞれ起立採決により、すべて不採択としました。

また、諮問第2号「人権擁護委員候補者の推薦」について原

案を同意し、議員派遣第3号について可決しました。

その後、10月11、14、15日は、市政全般について19名が一般質問に立ちました。

予算決算特別委員会は、17日に総務、18日に教育民生、24日に都市経済、25日に生活環境の分科会がそれぞれ行われ、その結果を10月2日の全体会に持ち寄り、決算議案審査が行われました。

9日の最終日は、特別委員会に付託していた決算の審査結果について、委員長からいずれも原案承認の報告がありました。

認定第1号、議案第71号、議案第72号について1名が反対討論を行ったことに伴い、同議案を起立によって採決し、その結果、各議案はすべて賛成多数で認定しました。最後に議員派遣第4号について可決後、今期定例会を閉会しました。

### 人事案件

今期定例会に提案された人事案件は次のとおり（敬称略）。

#### ▼人権擁護委員

那家町 松野 幸子

垂水町 鈴木紀美江  
飯山町東小川 大池 充  
綾歌町岡田西 白杵 實

#### 予算決算特別委員会を 設置して集中審議

委員会では、平成26年度の決算について、議長と議員選出の監査委員を除く次の議員を特別委員に選り延べ6日間にわたり審査しました。

（◎委員長 ○副委員長）

#### 予算決算特別委員会

◎多田 光廣 ○横川 重行  
川田 匡文 真鍋 順穂  
松永 恭二 水本 徹雄  
佐野 大輔 神田 泰孝  
小橋 清信 山本 直久  
岡田 剛 大前 誠治  
三宅 真弓 中谷真裕美  
尾崎淳一郎 加藤 正員  
藤田 伸二 小野 健一  
三谷 節三 福部 正人  
内田 俊英 片山 圭之  
松浦 正武 三木 まり

# 質疑

## 質問者・項目

太字の項目は要約文を掲載

三木 まり

個人情報保護条例の一部改正

中谷真裕美

一般会計補正予算（戸籍住民基本台帳事務費、地域型保育事業設置促進事業費、債務負担行為補正）

## 特定個人情報

## 厳格な保護措置を

◎三木議員 個人情報保護の観点から、運用は厳格に行われるべきと考えるが、条例改正でどういった対応を取るのか。また、目的外利用とは、具体的に何を指しているのか。

▲市長公室長 番号法では制度面における保護措置とシステム面における保護措置をとっている。また、条例では、番号法に基づき通常の個人情報よりも厳格な管理が求められていることから、適正な取り扱いについて

の必要な措置を講じている。

目的外利用とは、個人の生命、身体または財産の保護のために必要がある場合にのみ限定される利用で、本人同意か行方不明などで本人同意が困難な場合にのみ利用できるものである。

## 小規模保育所

## 開設までの予定は

◎中谷議員 市内2か所に設置予定の小規模保育所について、設置場所、運営事業者、保育開始までのスケジュールなどはどうなっているのか。

▲こども未来部長 川西町北で社会福祉法人浩福会の（仮称）小規模保育事業所桃山保育所、飯山町下法軍寺で株式会社ニチイ学館の（仮称）ニチイキッズ飯山保育園が開設予定である。スケジュールは、事業者が施設の改修を行い、平成28年1月に事業者が市へ申請し、審査した後承認する。入所申し込みは、保育所の入所申し込みと同様に、市へ申し込む。その後、事業者は保護者と直接契約を行うなど、4月1日開設に向け、受け入れ準備を整える予定である。

# 討論

議案に

賛成×反対の

意見を表明します。



## 《反対討論》三木 まり

議案第76号 個人情報保護条例の一部改正

## 《反対討論》尾崎淳一郎

①議案第73号 一般会計補正予算（戸籍住民基本台帳事務費、中央学校給食センター調理等業務委託）②議案第76号 個人情報保護条例の一部改正③議案第79号 手数料条例の一部改正④認定第1号 一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定（人権問題推進活動委託料、ごみ収集運搬業務委託料、図書館窓口等運営業務委託料、学校給食調理等業務委託料、人権・同和問題市民意識調査委託料）⑤議案第71号 水道事業会計利益の処分及び決算の認定（浄水場運転管理など水道事業の民間委託）⑥議案第72号 モーターボート競走事業会計利益の処分及び決算の認定（家族連れや幼い子供たちも含めた青少年を対象とした新しいファン層獲得戦略）

## 請願の審査結果

「安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書」の提出を求める請願

丸亀革新懇

世話人代表 佐々原義幸



「安全保障関連法案（戦争法案）の廃案を求める意見書の国会提出に関する請願

丸亀地区労働組合協議会

退職者会会長 北山齊伯



●本会議での審査結果  
起立採決の結果、賛成少数で不採択とした。

## ●討論

採択を求める討論

横川 重行 尾崎淳一郎

採択しないことを求める討論

内田 俊英

## 委員会云審査

### 一般会計補正予算など 各委員会で原案承認

本会議で各常任委員会に付託された議案と請願は、4日に生活環境と教育民生、7日に総務と都市経済委員会が開かれ、市長や副市長、担当部長などが出席し、審査を行いました。  
主な質疑は次のとおりです。

#### 生活環境委員会

- 新規購入後の既存の消防ポンプ自動車はどのような取り扱いになるのか
  - 通知カードの未送達分の再送代を何通と想定しているか
  - 土器コミュニティセンターの施設使用料について
- 質疑の後、討論はなく、委員会に付託された案件はすべて原案のとおり承認しました。

#### 教育民生委員会

- 介護保険特別会計の繰越金は毎年どの程度か
- 飯野青い鳥教室の整備スケジュールは
- 富熊小学校校放送室改修事業の内容は
- 学校給食センター調理等業務について、民間委託が財政面で適正か、第三者委員会による検証は行われているのか

#### 主な質疑

#### 主な質疑

#### 総務委員会

○認定こども園で午後2時まで利用する子と2時以降も利用する子の部屋の分け方について

○川西町北の「あかちゃんうさぎ」と放課後子ども教室「華キッズ」を改修して、新たに小規模保育事業所を設置するのとこのだが、現在行っているそれらの事業は今後どうなるのか

質疑の後、議案第73号のうち、第三者による民間委託の財政面の検証が行われていないため反対するとの討論があり、挙手採決の結果、委員会に付託された議案はすべて承認しました。

#### 主な質疑

- ポートレーススケッチシヨップ西予に職員は配置するのか
- 特定個人情報の開示請求権者が任意代理人にまで拡大される理由は
- 個人情報保護に関する市の責任体制は
- ふるさと丸亀応援寄附金の返礼割合はどうなっているのか

#### 都市経済委員会

質疑の後、議案第76号について、危険な番号法をすぐに実施すべきではないと考えるため反対するとの討論があり、挙手採決の結果、委員会に付託された議案はすべて承認しました。

また、請願第3号、第4号には、採択と不採択の討論があり、挙手採決の結果、可否同数のため、委員長採決により請願は不採択としました。

#### 主な質疑

- 産業振興支援補助事業では、どういった補助メニューの利用が多いのか
  - 農業振興事業に対する今回の補正は、当初予算で組めなかったのか
  - 現在、認定新規就農者は何人おり、その人たちは引き続き丸亀市で就農してくれる予定なのか
- 質疑の後、討論はなく、委員会に付託された案件はすべて原案のとおり承認しました。

## 予算決算特別委員会審査

### 平成26年度決算から

### 予算決算特別委員会を設置

本会議で予算決算特別委員会に付託された議案は、9月17日に総務分科会、18日に教育民生分科会、24日に都市経済分科会、25日に生活環境分科会が開かれ、現地調査を行った後、10月2日の全体会ですべての決算審査が行われました。

#### 総務分科会

##### 主な質疑

- 丸亀ボートが他場レースを発売する場合の基準はあるか
- 個人などからレースの冠を募集して収入増につなげる考えはあるか
- 外国人相談件数が増えている理由は
- 遊休不動産の整理は進んでいるのか
- 中讃広域行政事務組合負担金

#### 教育民生分科会

##### 主な質疑

- 額が年によって変わる理由は
- 教員一人に1台のパソコンが整備されたが、教員の負担軽減につながったか
- 学校教育サポーター事業で弁護士に相談した件数は
- 老人クラブ加入率が減少している理由は
- こども医療給付の対象が中学生までとなった効果は

#### 都市経済分科会

##### 主な質疑

- 小学校通学路の歩道カラー化でどのような効果があったか
- 浄水場運転管理業務委託料が2800万円ほど増額となった内訳は
- 公共下水道事業と農業集落排水の各特別会計での不納欠損の状況は
- 漁業環境対策事業費予算で、台風時に大量に発生したごみに対応できているのか
- 地籍調査事業の地元説明会の出席率ほどの程度か
- 猪熊美術館の外国人対応はできているのか

#### 生活環境分科会

##### 主な質疑

- 非常備消防活動費の被服費について、内容と破損した場合の

#### 予算決算特別委員会

##### 主な質疑

- 対応は
- 救急車の出場が重なった場合の対応は
- 消防本部施設管理費が大きく増加している理由は
- ごみ収集量は微増しているが、ごみ袋販売手数料が激減している理由は
- インターネット接続による公共施設予約システム設置の進捗状況は
- 美化ボランティア袋の作成枚数と利用状況は
- ごみ収集委託料が平成21年度から大幅に増えているが、今後の方針は
- 自治会振興費とコミュニティ推進費は、どのように評価しているのか
- 質疑の後、認定第1号、議案第71号、第72号にそれぞれ反対討論があり、挙手採決の結果、特別委員会に付託された議案はすべて承認しました。

## 議案の内容

### 議案の内容・結果

▼認定第1号 一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定

歳入歳出決算について監査委員の審査を経たので、地方自治法第233条第3項の規定により、議会の認定を得るもの

▼議案第71号 水道事業会計利益の処分及び決算認定

▼議案第72号 モーターボート競走事業会計利益の処分及び決算認定

地方公営企業法第32条第2項の規定により、決算に伴う利益剰余金を処分することについて議会の議決を求め、併せて同法第30条第4項の規定により、決算について監査委員の審査を経たので、議会の認定を得るもの

▼議案第73号 一般会計補正予算(第2号)

ふるさと納税の謝礼に要する費用270万円を追加措置するほか、保育施設設置事業者への補助金2687万円を措置。産業振興支援補助金1100万円を追加措置。4億7000万円を財政調整基金に積み立てるほか、これらの財源として、国・

県支出金、諸収入、寄附金、市債及び前年度繰越金などを計上し、予算総額を424億1258万9000円とするもの

▼議案第74号 介護保険特別会計補正予算(第2号)

国・県等に対する介護給付費負担金返還金5445万3000円を措置するほか、平成26年度決算剰余金1億7542万3000円を介護給付費準備基金に積み立て、予算の総額を84億687万6000円とするもの

▼議案第75号 モーターボート競走事業会計補正予算(第1号)

ボートレースチケットショップ西予を開設することにより、収入を8882万5000円増額し、委託料など8372万5000円を増額するもの

▼議案第76号 個人情報保護条例の一部改正

マイナンバー法の施行に伴い、必要な措置を講ずるほか、個人情報開示請求権を任意代理人にも認めるため、所要の改正を行うもの

▼議案第77号 市立認定こども園条例の制定

平成28年度から、あやうた幼

稚園と飯野保育所を幼保連携型認定こども園に移行するための条例制定と、関係条例について所要の改正を行うもの

▼議案第78号 コミュニティセンター条例の一部改正

土器コミュニティセンターの改築に伴い、施設使用料などを変更するため、所要の改正を行うもの

▼議案第79号 手数料条例の一部改正

マイナンバー法の施行により、再交付手数料について定めるほか、所要の改正を行うもの

▼議案第80号 垂水保育所園舎改築工事請負契約の締結

8月4日に制限付き一般競争入札を行い、第二建築(株)に落札決定し、8月11日に契約金額6億8040万円で仮契約を締結したので、議会の議決を得るもの

▼議案第81号 垂水保育所園舎改築に伴う機械設備工事請負契約の締結

8月4日に制限付き一般競争入札を行い、(株)高木工業所に落札決定し、8月11日に契約金額1億9062万円で仮契約を締結したので、議会の議決を得るもの

もの  
▼議案第82号 消防ポンプ自動車CD-I型の購入

7月2日に指名競争入札を行い、(株)岩本商会高松支店に落札決定し、7月6日に契約金額3963万6000円で仮契約を締結したので、議会の議決を得るもの

▼諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦

委員の任期満了に伴い、4氏を推薦するに当たり、議会の意見を求めるもの

▼議員提出議案第3号 委員会条例の一部改正

議長が常任委員を辞任することができ旨を定めるべく、所要の改正を行うもの

▼議員提出議案第4号 会議規則の一部改正

男女共同参画を考慮した議会活動を促進し、より良い住民サービスを実現するため、所要の改正を行うもの

▼議員派遣第3号 議員派遣について

▼議員派遣第4号 議員派遣について

議員派遣について、議決を得るもの

# 平成27年9月定例会 審議した議案とその結果

議案の内容・結果

議案番号	認定第1号	議案第71号	議案第72号	議案第73号	議案第74号	議案第75号	議案第76号	議案第77号	議案第78号	議案第79号	議案第80号	議案第81号	議案第82号	諮問第2号	議員提出議案第3号	議員提出議案第4号	議員派遣第3号	議員派遣第4号	請願第3号	請願第4号	
議員名	認定	可決及び認定	可決及び認定	原案可決	同意	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	不採択	不採択										
1 川田 匡文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	
2 真鍋 順穂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
3 松永 恭二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
5 水本 徹雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
6 佐野 大輔	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7 神田 泰孝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8 多田 光廣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
9 小橋 清信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
10 山本 直久	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
11 岡田 剛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12 大前 誠治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
13 三宅 真弓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
14 中谷真裕美	●	●	●	●	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15 尾崎淳一郎	●	●	●	●	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16 加藤 正員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17 藤田 伸二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18 小野 健一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
19 高木 新仁	議長のため採決に参加せず																				
20 三谷 節三	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
21 福部 正人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
22 内田 俊英	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
23 国方 功夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
24 片山 圭之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
25 松浦 正武	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26 横川 重行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27 三木 まり	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成、●：反対 ーは除斥または欠席した者です。

一般質問

# 19人の議員が 市の考えを問う 一般質問

質問者・項目 太字の項目は本文中に要約文を掲載

**真鍋 順穂**

①市庁舎等の整備②台風11号災害に関しての諸問題

**横川 重行**

①競艇事業②貧困問題③道路や橋、水路管理者としての安全管理

**山本 直久**

①財政について②観光について③女子サッカー選手の育成

**三宅 真弓**

①まるがめ婆婆羅商品券②イコボス宣言

**水本 徹雄**

①観光客をおもてなしする環境整備②小型無人機「ドローン」の活用③長年親しまれてきた丸亀市民会館のお別れ企画を④丸亀創生への「取組アイデア」を募集し、市民参加推進を⑤災害時における被害減少対策⑥定住・移住促進に

向けての今後の展開

**小橋 清信**

①非核平和都市宣言10周年記念植樹祭の場所選定②行財政改革の推進と職員定数③旧丸亀市と飯山町・綾歌町の資源ごみ収集体制

**三木 まり**

①市営駐車場関連②市民参画関連

**松永 恭二**

①市民球場について

**岡田 剛**

①「障害を理由とする差別の解消の推進のための法律」施行後の市の動向②生活保護制度③児童虐待

**神田 泰孝**

①「地域医療介護総合確保基金」について②高齢者の徘徊事故防止への取り組み③丸亀市情報メーリング配信の整備④2020年東

京オリンピック・パラリンピックへ向けての丸亀市の取り組み  
**中谷真裕美**

①マイナンバー制度への対応②学校給食における地産推進のために

**福部 正人**

①学校給食における食物アレルギー対応②ICTを活用した鳥獣被害対策③本市における動物愛護ボランティアとの連携・支援等④田んぼアートの実現に向けて⑤小中学生のスマホ等の使用制限

**藤田 伸二**

①改正労働者派遣法が成立した場合の市の対応②無戸籍問題③電力小売り完全自由化への市の対応

**片山 圭之**

①平和行政について②都市経営について③市長のトップセールスについて

**加藤 正員**

①人間ドックの助成②綾歌森林公園・綾歌三山

**松浦 正武**

①定住自立圏に関連した雇用対策②台風11号による農業被害の

対応③電気柵について

**佐野 大輔**

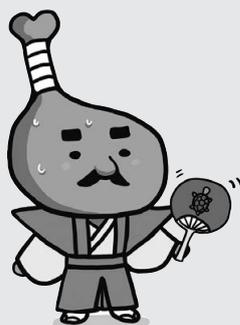
①総合戦略について

**尾崎淳一郎**

①医療・介護総合法②災害時の障害者避難・生活支援③生活保護行政④職員採用制度

**内田 俊英**

①災害時応援協定②中方橋復旧を新市10周年の希望のシンボルに③高齢化と市民運動④政治参加教育⑤放棄された固定資産への対処



ご案内

次回の定例会は  
12月上旬に開会  
予定です。

## 台風11号被害

### 桃の産地を守れ

**Q 真鍋議員** 台風11号による被害について、本市特産品の桃の被災状況と市の対応は。

**A 産業文化部長** 桃の被害は約35ヘクタール、被害額約5500万円と算出されている。JAでは機械選果経費の追徴はしない方向で調整していると伺っており、共済では、損害額の7割程度が支給されると伺っている。桃栽培農家の復旧支援策として、JAが国の補助事業の果樹経営支援対策事業に取り組みようであり、本市も補助金の増額や補助率の拡大も視野に入れ、柔軟に対応したい。

### 子供の貧困対策

#### 市の支援策は

**Q 横川議員** 本市の子供の貧困状態はどうなっているのか。食糧支援や医療サービスなど、小・中学校の対応状況も含めてどのようにしているのか。

**A 市長** 本市の給食費を含む就学前教育施設の利用者負担額は、

生活保護世帯は無料、市民税非課税世帯は安く設定している。医療サービスは、中学校卒業までの子供を対象に全額現物給付とし、ひとり親家庭等医療費助成制度では、現物支給としている。小・中学校の給食費は、就学奨励費支給制度の対象保護者に全額実費を支給している。

### 女子サッカー部

#### 全中学校に設立を

**Q 山本議員** 女子サッカー発祥の地として、中学女子サッカー部設立への動きはあったのか。

**A 市長** 現在、全中学校にサッカー部はあるが、女子だけのサ



女子サッカー発祥の地・丸亀

ッカー部はない。しかし、サッカー部では女子の入門も認めており、5中学校で8名の女子生徒が男女混合のサッカー部として活動している。女子サッカー部設立には、練習場所や指導者の確保など課題があり、実現していない。女子サッカーチームは県内に13あり、試合や大会に出場していることから、実現可能な方法を検討したい。

### イクボスという

#### 呼称は適切か

**Q 三宅議員** イクボス宣言で女性管理職も「ボス」と呼称することは不適切ではないのか。

**A 総務部長** イクボスとは部下のキャリアと人生を応援しながら、自らも仕事と私生活を楽しむ管理職のことで、男性だけでなく女性管理職も対象としている。ボスという呼称は職場の管理監督者や上司といった意味を持っており、性別や年齢などにかかわらず使用される言葉と認識している。イクボスは働き方改革のキーワードとしても紹介されている。イクボス宣言の趣旨をご理解いただきたい。

## 市民会館

### お別れ企画を

**Q 水本議員** 平成29年3月末で使用を中止する市民会館のお別れイベントを企画してはどうか。

**A 産業文化部長** 市民会館のフイナールを迎えるイベントとして、詳細は未定だが、市民の皆様からの市民会館へのメッセージや思い出の写真の募集、これまで行われた事業のポスターや公演された方のサイン色紙などの展示を検討している。また、最終月には楽屋や舞台装置の見学会、ホールを開放した作品展示など、市民会館の思い出が残る行事を計画したい。



現在の丸亀市民会館

## 保育所

### 民間委託の方針は

**Q** 小橋議員 近年保育士採用数が増加しているが、これまで進めてきた保育所民間委託の方針を変更したのか。

**A** こども未来部長 本市では公立保育所の統廃合や民営化などで行財政改革を推進してきたが、子ども・子育て支援新制度が導入されたことを受け、新たに市こども未来計画を策定し、今後5年間の保育所・幼稚園、認定こども園のあり方を方向付けた。今後5年間は民間委託の計画はないが、委託自体を否定するものでなく、今後も継続して検討していく。

### 市営港駐車場 離島振興に活用を

**Q** 三木議員 夏休み期間中は海水浴などで島へ行く人が増えると思うが、市営港駐車場の利用状況は。また、離島振興の視点での活用を検討すべきと考えるが、どうか。

**A** 建設水道部長 7月と8月の

利用は6月の約2倍となっており。港駐車場は島しょ部で活動される皆様には不可欠な駐車場であり、柔軟に運営していくことが大切である。今後、利用者の要望なども聞きながら、子供の海水浴やキャンプなど、各種イベントに協力し、離島振興に貢献したい。



港から一番近い市営港駐車場

### 丸亀市民球場 要望にどう応える

**Q** 松永議員 市民球場の使用状況と予約状況は。また、市民から案内表示板の設置、大会予定表の作成、子供の遊び場の設置の要望があるが対応は。

**A** 生活環境部長 これまで利用

## 一般質問



四国Cスタ丸亀（金倉町）

可能日数の96%で利用があり、今後半年間の土日、祝日の80%以上で予約が入っている。案内表示板は必要な箇所に設置できるよう関係機関と調整している。大会予定表は9月から球場の月間広報の形でチラシを作成し、公共施設などでの配布を予定している。子供の遊び場設置は今後の検討課題としたい。

### 障害者差別解消法 どのような認識か

**Q** 岡田議員 来年4月に施行される「障害者差別解消法」に対する市の基本認識は。

**A** 市長 同法は全ての国民が障害の有無によって分け隔てられ

ることなく、相互に人格と個性を尊重する社会を目指すものであり、本市においても障害を理由とする差別的解消に向けて必要な施策を進める必要があると認識している。市には不当な差別的取り扱いの禁止と障害のある方への合理的な配慮が義務づけられるので、きめ細かに対応するとともに、差別的解消に向けた啓発を行いたい。

### 高齢者徘徊事故 防止の取り組みは

**Q** 神田議員 認知症の高齢者が行方不明になる事案が全国で増加している。本市では高齢者の徘徊事故防止にどのような取り組みを行うのか。

**A** 市長 日常の見守り体制と所在不明となった時の支援体制の構築を進めている。社会福祉協議会では、登録会員に対し行方不明者の情報をメール配信する取り組みが行われているので、登録者数の増加を図り、より有効なネットワークづくりを進める。今後も県や他市町、警察ほか関係機関と連携し、高齢者の徘徊事故防止に努めたい。

## マイナンバー制度 市長の見解は

**Q 中谷議員** 利便性よりもプライバシー侵害などの危険性が心配されるマイナンバー制度について、市長の見解は。

**A 市長** 現時点で利用範囲は税や社会保障、災害対策の分野に限定されている。今後、利用範囲が拡大されれば利便性が向上する一方、情報漏えいの危険性が高まるのも事実である。

市としては、システム整備や職員研修を行いセキュリティ対策の強化に努め、市民の皆様がマイナンバーを安心・安全に利用し、メリットを実感できるように準備を進めたい。

## アレルギー対応給食 拡充に向けて

**Q 福部議員** アナフィラキシー症状がある児童・生徒にも除去食などを提供できるように市食物アレルギー対応マニュアルの改正を求めるが、いかがか。

**A 教育部長** 今年度、アレルギー対応給食実施対象校を拡大し、

円滑、確実な対応を図っているが、一層の推進を求める要望もあり、現在の対応マニュアルの改正について来年度に検討に入る予定である。改正に当たり、アナフィラキシーショックの対応など、様々な課題について、専門医、学校関係者、栄養教諭等と検討、協議したい。



アレルギー対応を進める学校給食センター

## エネルギーの地産地消 市が新電力を

**Q 藤田議員** エネルギーの地産地消による地域活性化の観点から、市が自ら新電力を立ち上げる考えは。

**A 市長** 行政が地域新電力会社を立ち上げることで、税収増や

利益配分などの地域活性化や新たな雇用の創出など、様々な効果が期待できる。本市において100%の地産地消の実現には規模の問題などもあり、困難な部分もあるが、新電力を立ち上げる手法は様々あるので、それぞれについてメリット、デメリットなどを比較検討するなど、今後の検討課題としたい。

## 丸亀の魅力向上 ウォーターフロント開発で

**Q 片山議員** 本市の都市政策として、歴史を生かし、人と環境と都市活力の調和がとれたウォーターフロントエリアを、新しい魅力ある交流エリアとして創



ウォーターフロントエリアの一角

出すべきではないか。

**A 建設水道部長** 丸亀港周辺は本市の歴史的シンボルである丸亀城とともに市民の憩いの場となるポテンシャルを持つ歴史的な区域であり、既存の社会資本のストックもある。親水区域を持ったウォーターフロントのあり方を、今後3年かけて作成予定の立地適正化計画の中で検討したい。

## 綾歌三山の魅力 伝えるために

**Q 加藤議員** 綾歌三山の魅力を子供たちに伝えるため、ワークショップの要望を踏まえた森林公園活用の基本的方向性と実現の見通しは。

**A 建設水道部長** 基本的方向性として、ワークショップの意見をベースに、地域と連携した学び、遊びなど、利用者ニーズを反映した取り組みを行っていく。また、森林公園の整備やイベントに対する要望は、綾歌三山を熟知している綾歌三山愛好会や地元コミュニティなどの方々と協議しながら、利用者目線で実現していきたい。

## 地元企業説明会

### 市にできることは

【Q】松浦議員 地元へ就職希望の生徒などにとって、様々な企業情報を得ることは自分に合った職業を見つけるために有意義であり、離職率の改善にもつながる。地元企業説明会の開催支援について、市の見解を。

【A】市長 ハローワーク丸亀では生徒が就職活動にうまく取り組めるよう、地元雇用の推進のための様々な支援を行っている。市としては、こうした取り組みへの側面的支援とともに、常日頃から働くことのすばらしさを



定住自立圏域就職面接会

身近に感じられるよう、できる限り支援に努めたい。

## 今後の総合戦略

### 重点をどこに

【Q】佐野議員 今後、総合戦略策定に当たり、どこに重点や視点を置き、どのような施策の策定を行っていくのか。

【A】市長 素案として①自然増を目指す②社会増を目指す③魅力を高める④安心を高めるの4つの基本目標ごとに重点的かつ優先的に取り組むリレーディングプロジェクトを核に、それぞれの施策を着実に推進することで、まちの未来を担う人材と組織を創造し、人口減少時代においても輝きを放つ丸亀市を築いていきたい。

## 特養施設

### 入所できなくなる人への対応は

【Q】尾崎議員 特別養護老人ホームの利用原則が、要介護3以上に限定されたことによって、待機者の3割以上が利用できなくなると言われているが、市はど

## 一般質問

う対応するのか。

【A】市長 要介護1、2の方でも、やむを得ない事情により居宅で日常生活を営むことが困難な場合、特例入所として認められる。今後とも、市は、特別養護老人ホームに入所できない方に対応しても、ニーズに合った適切なサービスを安心して受けられるよう、関係機関と連携、協力していきたい。

## 災害時応援協定

### 市民の防災意識向上に

【Q】内田議員 災害時応援協定の制度が本稼働後、あらゆる手段を駆使し、市内外に強く丸亀をアピールして、市民の防災意識を、人助けという積極的な位置付けにしたハイレベルのものにするチャンスだと思うが、市長の考えは。

【A】市長 本協定の内容と後方支援拠点としての本市の役割と意義について、市民の皆様にわかりやすく説明し、協力をいただくとともに、市内外に情報発信していきたい。この協定締結を機に、市民の防災意識のさらなる向上に取り組みたい。

## 議会の動き 7・8・9月

9月	8月	7月
29日 予算決算特別委員会現地調査	25日 議会改革特別委員会	9日 生活環境委員会協議会
25日 境界分科会	31日 市庁舎整備等特別委員会	10日 広報広聴委員会／市庁舎整備等特別委員会
24日 予算決算特別委員会都市経済分科会	1日 議会運営委員会／定例会初日(10月9日まで)／全員協議会	17日 議会運営委員会
18日 予算決算特別委員会教育民生分科会	24日 議会運営委員会／各派会長会	23日 議会改革特別委員会
17日 予算決算特別委員会総務分科会	3日 都市経済委員会協議会	31日 市庁舎整備等特別委員会
16日 全員協議会	4日 生活環境委員会／生活環境委員会協議会	6日 総務委員会協議会
15日 広報広聴委員会	7日 市民生活委員会協議会	7日 広報広聴委員会／議会運営委員会
14日 全員協議会	10日 市庁舎整備等特別委員会県内視察	
11日 全員協議会／各派会長会		
10日 議会運営委員会		
7日 総務委員会／都市経済委員会／都市経済委員会協議会		
4日 生活環境委員会		
3日 都市経済委員会協議会		



## 政務活動費のHP公開 選挙公報の発行など

議会改革特別委員会では、定期的に会議を開催し、議会改革について協議を進めています。

その協議した結果の一つが、予算決算特別委員会の設置です。これまで、市の予算・決算の審査は議員全員の参加ではなく、予算は常任委員会の構成議員で、決算は選抜議員での審査でした。今年度からは議長を除く全議員（ただし決算審査では議員選出の監査委員を除く）で構成する予算決算特別委員会



予算決算特別委員会の現地調査

審査を行います。市主催の勉強会の後、常任委員会と同じ議員で構成する分科会で専門的な集中審議を行い、その後、現地調査や全体会を実施するなど、全議員の共通認識を図るとともに、チェック機能の強化、審議の充実に併せ、新年度予算への反映に努めます。

このほか、ホームページでの政務活動費の公開や選挙公報の発行についても協議を行いました。

政務活動費は、平成26年度分から、市議会ホームページに各議員の収支報告書、出納簿を公開するように、年度内を目標に準備を進めています。また、同ページに「政務活動費」のカテゴリーを設置し、制度、支給額、規則などを記載し、

政務活動費について市民の皆さんの理解が得られるよう情報発信に努めます。

選挙公報については、投票する時の判断材料とするため、次回市議会議員選挙から選挙公報を発行するよう、市関係部局に申し入れを行いました。

今後、常任委員会構成のあり方などについて協議を重ねるとともに、議会改革の先進事例研究を進めるなど、開かれた議会を目指し、市民の皆さんの期待に応えるべく、継続して議会改革に取り組んでまいります。



議会改革特別委員会  
(左から) 中谷、神田、岡田、横川、小野  
水本、真鍋、福部、松浦

### 編集 後記

今年度から新しくはじまった「予算決算特別委員会」。本日

の決算審査では、綾歌三山の松枯れから漁業問題まで取り上げられ、あらためてコンパクトな面積に山から海まで擁している本市の姿を認識させられます。

かつて東京からのお客さんが、城山山頂からの眺めを「平野にぼこんぼこんとおむすび山があつて海も見える。ここは日本昔話の世界だ!」と大感激していたのを思い出しました(中に住んでいると、よく分からない感覚でしたが...)。

先日、瀬戸内海を「里海」に、という改正特別措置法も成立し、今、「里山」「里海」と、その価値は生活に根ざした宝として、大きく注目されています。それと同時に、その宝が損なわれることへの警鐘も鳴らされています。

秋晴れに仰ぐ飯野山や、光る瀬戸内海。豊かな我がまちの財産を、どう活かし、将来へつないでいけるか。

私たちも考え、動き出す時です。

広報広聴副委員長 中谷真裕美

## 総務委員会

7月  
13~15日

大村競艇  
長崎市  
福岡県

### 大村ボートレース場

大村市は昭和27年に全国初のボートレースを開催した発祥の地ですが、存続が危ぶまれる状況まで経営が悪化。しかし、積極的な改善により奇跡と称されるほどの復活を遂げました。丸亀が今後、参考に取り入れるべき施設運営や「攻めの経営」を学びました。



ボートレース発祥の地記念館

### 長崎市 市役所カワルプロジェクト

市役所へのニーズが多様化し、対応が困難になってきた

中、「市民力」をキーワードに市役所全体で取り組む姿勢を打ち出し、市民満足(幸福)度の向上を目的とした「市役所カワルプロジェクト」を学びました。

### 福岡共同公文書館

平成24年に開館した福岡共同公文書館は、県と県内58市町村で設置、運営する全国初の施設です。公文書を後世に残すことは、自治体にとって重要な責務であり、丸亀での設置を考えた場合、共同設置、運営は一つの解決策であり、有効な学びとなりました。



保存・修復作業室

## 教育民生委員会

7月  
13~15日

福津市  
北九州市  
大村市

常任委員会視察

福津市では、学校、子供、家庭や地域が抱える課題を地域ぐるみで解決し、地域の力を学校運営に生かす「コミュニティスクール」について研修しました。保護者や地域住民が学校運営に参画する上で「地域住民が学校運営についてわからないことはない」というところまで共有する姿勢が重要だと痛感しました。

北九州市では「地域でGo! Go!健康づくり」について研修しました。小学校区を基本に設置されている「市民センター」を拠点とした健康づくり事業で、地域の特性を生かした事業で健康だけでなく、人間関係の構築



北九州市での研修



大村市の認定こども園

にも効果がある一方、活動を行う人材不足などの課題もあり、住民、行政、保健師が互いに解決に向けた情報を共有することが大切であると感じました。

大村市では認定こども園を視察しました。幼稚園でも保育所でもない「認定こども園」を運営していくことは、想像以上に難しい点が多いことを再認識。子供のことを第一に考えるということがこども園運営にもっとも大切なことであり、子育て家庭が望む事業実施には職員の連携、保護者や地域住民の理解と協力が決して欠かすことのできないものであるということを知り、視察を通じて実感しました。

# 都市経済委員会

7月  
6～8日

島田市  
瀬戸市  
草津市

## 島田市のにぎわいのある 中心市街地形成計画

本市と同様に、駅前中心市街地の空洞化が著しい状況に歯止めを掛けるため、民間施工者による再開発事業を支援し、敷地共同化による商業、業務施設、共同住宅、駐車場の用途を複合した施設を設置するなど、共同利用、高度利用を促進することで、交流人口を増やし、中心市街地の再生を図っていました。



駅前再開発ビル（島田市）

## 瀬戸市の もつかる農業と瀬戸農業塾

瀬戸地域アグリカルチャーネットワーク構想により、農業を主要施策に位置づけて瀬戸農業

塾を立ち上げ、地産地消の推進や6次産業化、担い手育成、遊休農地対策など、市が1/4出資の道の駅を拠点に取り組んでいます。

## 草津市の 中心市街地活性化計画

草津市では人口減少、少子高齢社会に対応できるよう、まちの構造を見直し、中心市街地を市民の暮らしを支え続ける市民の「生活拠点」として再生するための計画を立て、官民連携による「元氣」と「うるおい」のある生活交流都市実現が確実視されるなど、島田市や瀬戸市と合わせて本市の政策形成の参考となりました。



中心市街地を望む（草津市）

# 生活環境委員会

7月  
13～15日

名張市  
湖南広域消防局  
奈良市

## ゆめづくり地域予算

住宅開発地域で自治会加入を条件としたことから、自治会加入率が95%以上の名張市。従来の補助金から使途が自由な交付金へという地域予算制度が創設され、今では住民主導のまちづくりが実現しています。



名張市での研修

## 湖南広域消防訓練棟

総合訓練が可能な7階建ての主塔、障害突破訓練のための副塔、ロープブリッジ救出訓練のためのステージ塔で構成されています。消防局が実施する大規模訓練でも年間10回以上は施設

を活用しているとのことでした。丸亀市の今後の整備の具体化に大変参考になりました。



消防訓練棟を視察

## TOPSPORTSCITY 奈良

地域密着型トップスポーツ支援・振興として、広報紙やホームページで試合情報を発信、ファン感謝祭やアスリートが直接指導を行う学校巡回事業、応援寄附制度を新設して市民から寄附を呼びかけるなど積極的に行っています。

常任委員会では市勢発展に資するため、先進事例を視察し、調査・検討を行っています。

# 丸亀市議会

# 議会報告会

あなたの声を議会に！市政に！

2015.11.9月

午後6時半～

同時刻2か所開催

丸亀市民会館 中ホール

アイレックス 小ホール

最寄の会場にご来場ください。



ちゅーちゅー  
ちゅーちゅー



主催／丸亀市議会

お問い合わせ先／丸亀市大手町二丁目3番1号 TEL0877-24-8828 FAX0877-24-8867  
E-mail:gikai@city.marugame.lg.jp